



総合交通メールマガジン 第16号

平成21年10月30日発行

発行元：国土交通省 政策統括官付 高橋参事官室

目次



Topics

- ・～歩行者の移動にやさしい環境をつくる～「モビリティサポートの推進」サイトの開設について



Column

- ・交通環境整備ネットワーク 佐藤代表「ローカル線存続のための地域の取り組み」



地域の取組紹介

- ・エコ通勤社会実験～マイカー通勤からEcoバイク『旅チャリ』通勤へ～



Information

- ・総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい！
- ・地域の取組募集！！



編集後記

Topics



～歩行者の移動にやさしい環境をつくる～「モビリティサポートの推進」サイトの開設について（国土交通省 政策統括官付 参事官室）

参事官室では、人の移動に着目し、出発地から目的地に至るまでの総合的な交通に関する施策を推進しています。このことから、当室では、歩行者が必要に応じ移動に関する情報を入手し、快適・安全かつ安心に移動して積極的に活動できる環境を構築することを目的に、今年度から「モビリティサポートの推進」施策を創設し、ユビキタス技術等を活用したモビリティサポートサービスの普及展開を推進しています。

それに伴い、「モビリティサポートの推進」のサイトを開設しましたので、お知らせします。このサイトでは、今年度全国7箇所で開催しているモビリティサポートについての取組である「モビリティサポートモデル事業」や、段差の有無、幅員やスロープなどのバリア情報を含んだ歩行空間のネットワークの情報である「歩行空間ネットワークデータ」などについて紹介していきます。特に、「モビリティサポートモデル事業」については、できるだけフレッシュな情報を皆様にお届けできるようにしていきます。

このサイトのURLは以下のとおりです。今後にご注目下さい。

【「モビリティサポートの推進」サイトのURL】

http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/seisakutokatsu_soukou_tk_000023.html

【本件に関する問い合わせ先】

国土交通省 政策統括官付参事官付

課長補佐 鈴木 祥弘 Tel: 03-5253-8111(ext. 53-115)

E-mail: suzuki-y2au@mlit.go.jp

調整第二係長 外山 喜彦 Tel: 03-5253-8111(ext. 53-117)

E-mail: toyama-y84sj@mlit.go.jp

Column

交通環境整備ネットワーク 佐藤代表

「ローカル線存続のための地域の取り組み」

地方のローカル鉄道は、モータリゼーションの進行、過疎化等の課題が積み重なった結果、負のスパイラルに陥り、徐々にその路線数を減らしていっています。

こうした現状を打開するための取組として、交通環境整備ネットワーク 佐藤代表より「ローカル線存続のための地域の取り組み」についてご寄稿頂きました。佐藤代表は、鉄道には地域のメッセンジャーとしての機能があるとし、ローカル鉄道が人々の関心を集め、地域の住民が沿線の魅力を見つけ出して全国に向けて発信することで、地域の活性化に実を結ぶと説かれています。是非ご一読下さい。

また、同ネットワークにおいては、フォーラムの開催など地方鉄道を活性化する取組を意欲的に行っています。直近の取組については、以下のホームページをご覧ください。



津軽鉄道芦野公園駅での野外劇



大正ロマンで演出する上田電鉄別所温泉駅

【コラム全文についてはこちら↓】

<http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/soukou-magazine/0910ecotran.pdf>

交通環境整備ネットワークホームページ : <http://www.ecotran.org>

地域の取組紹介

🚲 エコ通勤社会実験～マイカー通勤からEcoバイク『旅チャリ』通勤へ～

通勤の交通手段をマイカーから電動アシスト自転車に置き換えることにより、エコ通勤の普及促進に努めている事例として、株式会社JTB首都圏より「エコ通勤社会実験～マイカー通勤からEcoバイク『旅チャリ』通勤へ～」について紹介頂きます。この取組は、環境省が公募した「平成21年度モビリティ・マネジメントによるエコ通勤社会実験」によるものです。

株式会社JTB首都圏では、電動アシスト自転車（Ecoバイク『旅チャリ』）を実験協力事業者に貸し出し、9月1日から11月30日までの3か月間、実験を実施しています。実験に際しては、参加者の取組継続意欲を向上させるため、felica対応携帯電話、ICカードを使って記録した移動距離等に応じて、エコマイルが加算できるシステムを作り、旅行商品割引が受けられるようにしています。



(左) (中) 実験に用いている電動アシスト自転車（Ecoバイク『旅チャリ』）
(右) 携帯電話での移動距離、CO₂削減量の表示画面

【株式会社JTB首都圏の取組概要についてはこちら↓】

<http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/soukou-magazine/0910jtb-syutoken.pdf>

株式会社JTB首都圏（エコ通勤のご提案）ホームページ：

<http://www.jtb.co.jp/e/tabichari/eco/index.asp>

Information

🚗 総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい！

総合交通メールマガジンでは、読者の皆様からのご意見・ご要望を踏まえて内容を充実させていきたいと考えています。誌面の感想、取り上げて欲しいテーマなど、どのようなことでも構いませんので、ご意見等頂けると幸いです。様式、送付先については、下記URLをご利用下さい。

URL：<http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/soukou-magazine/iken-merumaga.xls>

地域の取組募集！！

当室では、情報提供頂いた取組をメールマガジンで紹介することにより、各地域でノウハウ等の情報共有・情報交換ができればと考えており、総合的な交通施策の取組について情報提供頂ける自治体等を募集しています。自薦・他薦は問いませんので、お気軽にご連絡下さい。

【情報提供頂く内容】

例えば、

- ・ 低炭素社会の実現に向け、モビリティのあり方を見直す取組（交通の再編等）
- ・ 公共交通の利便性向上を目指した取組
- ・ 交通の改善により地域活性化を図る取組 など

※ これまでに、推薦頂いたものも含めて33件の取組を紹介させて頂きました。

バックナンバー一覧：

http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/seisakutokatsu_soukou_tk_000005.html



今回の「総合交通メールマガジン」では、**Column**として、交通環境整備ネットワーク佐藤代表より「ローカル線存続のための地域の取り組み」についてご寄稿頂きました。この場をお借りして、佐藤代表に御礼申し上げます。また、株式会社JTB首都圏からエコ通勤社会実験の取組について紹介頂きました。

さて、当室で実施している「モビリティサポートモデル事業」についてですが、10月30日時点では、銀座地区（東京都中央区）、橿原地区（奈良県橿原市）において、同事業による歩行者の移動支援サービスを実施しています。詳細は、冒頭で紹介した「モビリティサポートの推進」サイトに掲載しておりますので、サイトをご覧の上、移動支援サービスを体験頂ければ幸いです。

（T. K.）

【「モビリティサポートの推進」サイトのURL】

http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/seisakutokatsu_soukou_tk_000023.html

【問い合わせ先】

国土交通省 政策統括官付参事官室 メールマガジン担当 小林、近藤

TEL：03-5253-8111（内線53-113、53-117）

FAX：03-5253-1675

E-mail：soukou@mlit.go.jp

URL：<http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/index.html>

